

め、産直の苗物コーナーを屋外へ移設する中庭改修のほか、脱衣室エアコンの改修工事などを行いました。
 中小企業の人材確保や販路拡大を支援するため、合同企業説明会、見本市などへの出展補助や、市内で新たに創業する人に対する初期投資への補助を行い、本市の商工業の振興と活性化に寄与しました。
 また、学生や通勤者など、地域住民の利便性向上を図るため、ふれんどバスの終点を碧南駅から碧南高校まで延伸して運行しました。

市税の内訳

項目	決算額
市民税	77億2,021万円
個人	48億9,091万円
法人	28億2,930万円
固定資産税	88億1,972万円
軽自動車税	1億7,887万円
市たばこ税	4億6,207万円
都市計画税	11億4,585万円



都市計画税の充当状況

項目	事業費	充当金額
公園事業	1億7,925万円	2,920万円
下水道事業	1億6,649万円	1億1,563万円
土地区画整理事業	2,716万円	1,052万円
地方債償還	14億2,629万円	9億9,050万円
合計	17億9,919万円	11億4,585万円

総括

歳出は、決算額280億7,892万円余で対前年度比2.6%増となりました。子育て支援や高齢者・障害者福祉・医療などにかかる民生費は、対前年度2億5,879万円余(28%)の増、道路や公園などの整備にかかる土木費は、対前年度2億2,383万円余(56%)の減となりました。また、教育費は対前年度3,261万円余(0.9%)の減となっており、碧南緑地スポーツ施設管理棟の整備や、海浜水族館のエントランス改修を行いました。
 なお、歳入財源として、地方債(借金)を8億3,660万円発行して財政運営を行うとともに、財政調整基金に3億4,080万円余、公共施設維持基金に4億9,707万円余積み立てを行い、将来に備えました。

特別会計・企業会計

特別会計決算

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	67億1,175万円	66億3,273万円
公共下水道事業	33億4,012万円	32億7,510万円
訪問看護事業	5,977万円	2,191万円
介護保険	48億4,708万円	46億9,048万円
後期高齢者医療保険	8億5,459万円	8億5,202万円

企業会計決算

水道事業	収入	支出
収益的収支	15億2,212万円	13億8,832万円
資本的収支	1億4,118万円	5億4,077万円

病院事業	収入	支出
収益的収支	69億1,343万円	78億7,090万円
資本的収支	12億2,236万円	16億1,823万円

健全化判断比率・資金不足比率の公表

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成30年度決算の健全化判断比率を示す4指標と公営企業の資金不足比率を公表します。
 これらの比率は、赤字額や借入金の額などをもとに、自治体の「財政の健全化度」を数値として表したものです。いずれも、値が少ないほどその自治体の財政は健全な状態にあるといえます。

総評

平成30年度決算は、いずれの指標でも基準を下回り、財政状況は健全であると言えます。
資金不足比率
 企業ごとに資金不足(赤字)の割合を示します。

会計名	経営健全化基準
水道事業会計	20.00%
病院事業会計	
公共下水道事業特別会計	

※いずれの会計も資金不足ではありません。

問 行政課財政係 ☎(95)9869

健全化判断比率

指標	公表数値	早期健全化基準
実質赤字比率	—	12.63%
連結実質赤字比率	—	17.63%
実質公債費比率	1.9%	25.00%
将来負担比率	—	350.00%

※「—」は実質的な赤字、将来負担が発生していないことを示しています。
 ●実質赤字比率は、一般会計などの赤字の割合を示すものです。
 ●連結実質赤字比率は、市全体の会計の赤字の割合を示すものです。
 ●実質公債費比率は、一般会計などが負担する借入金の返済額などの割合を示すものです(3か年平均)。
 ●将来負担比率は、一般会計などが将来負担すべき借入金などの割合を示すものです。

平成30年度 会計決算報告

問 行政課財政係 ☎(95)9869

9月市議会で認定された一般会計、5つの特別会計、2つの企業会計について、大切な金の使い道を報告します(金額はすべて1万円未満四捨五入)。

一般会計

歳入

歳入の60.7%を市税が占めています。市税の中では、固定資産税が48.1%、市民税が42.1%で、全体の90.2%を占めています。また、寄附金は7億4,167万円余(対前年度比27.2%増)となりました。これは主にふるさと応援寄附金として7億3,696万円余を受け入れたことによるものです。地方消費税交付金は14億88万円余(対前年度比2.5%増)となりました。

※()内は構成比

総務費 41億8,975万円(15.0%)
民生費 96億730万円(34.2%)
衛生費 34億8,830万円(12.4%)
土木費 37億6,354万円(13.4%)
教育費 34億651万円(12.1%)
そのほか 36億2,352万円(12.9%)

歳出総額
 280億7,892万円
 (対前年度比2.6%増)

市税 183億2,672万円(60.7%)
地方消費税交付金 14億88万円(4.6%)
国庫支出金 30億8,393万円(10.2%)
県支出金 14億7,905万円(4.9%)
繰越金 18億3,858万円(6.1%)
そのほか 40億6,855万円(13.5%)

歳入総額
 301億9,771万円
 (対前年度比3.4%増)

歳出

●**総務費** 第6次碧南市総合計画を策定するための資料収集として、アンケート調査および基礎調査を実施したほか、市政情報の発信力強化や多様化する利用者ニーズに対応するため、ホームページをリニューアルしました。
 また、市制70周年記念事業として、「Night Akashi Park」など、多くの記念事業を実施し、市民の皆さまとともにこの節目となる年を大いに盛り上げることができました。
 ●**民生費** 就園前の子どもの発達に不安を持つ保護者とその子どもへの支援として、早期療育を実施したほか、保護者の子育てと就労との両立を支援するため、病児保育事業を実施しました。また、民間保育所の保育環境整備のため、私立保育園園舎整備に対する補助を行い、子育て環境の充実に努めました。
 ●**衛生費** 筋トレルーム60の充実を図るため、あおいパークにトレーニング器具を追加設置しました。また、一般廃棄物最終処分場の安定した運営確保のため、これまで借り上げにより使用していました平山町1丁目地内の用地を取得しました。
 ●**土木費** 市道権現線整備事業において道路改良工事の実施により、第1期計画区間の整備が完了したほか、緊急輸送道路対策事業、橋梁長寿命化対策事業、駅周辺環境整備事業、ポンプ場設備長寿命化事業、近隣公園整備事業、市営宮下住宅建替事業を実施しました。
 ●**教育費** 施設の老朽化対策として、東中学校の外壁などの改修および文化会館3階のトイレ改修のほか、小中学校施設の劣化状況調査を実施しました。また、将来への投資となる教育関連施設の整備として、碧南緑地スポーツ施設管理棟の整備や海浜水族館のエントランス改修に加え、藤井達吉現代美術館においては、収蔵庫などの増設に向けた基本設計および実施設計を行いました。
 ●**そのほか** 土地改良施設の機能保持および長寿命化のため、北浦1号排水機場の排水ポンプ盤整備工事を行いました。また、あおいパークにおいて、施設の利用環境の向上のため